

## 2018年度 和泉短期大学 シラバス

|              |  |  |       |
|--------------|--|--|-------|
| 授業科目名        | キリスト教概論  | 教員氏名   | 西田恵一郎 |
| 学年           | 1年   | 開講学期   | 前期    |
| 授業形態         | 講義   | 単位数  | 2単位   |
| 必修・選択        | 卒業必修   |  |       |
| テーマ          | キリスト教の人間観を通して、キリスト教を学ぶ   |  |       |
| ディプロマポリシー    | 1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。  |  | ○     |
|              | 2. 保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。   |  |       |
|              | 3. 保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。  |  | ○     |
| カリキュラムポリシー   | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     | ○     |
|              | 科目群Ⅱ<br>原理   | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 | ○     |
|              | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける |       |
|              | 科目群Ⅳ<br>実践   | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |       |
| 授業の概要        | テキストに沿って講義形式で進めるが、講義の主題を深める上で授業参加者が相互に意見を交わす対話形式での展開を期待する。テキストの後半は個々に取り組み読む課題となるが、授業においても部分的に取り上げたい。           |  |       |
| 授業の到達目標      | 福祉・教育を担う保育士・幼稚園教諭を目指す「私」と保育・教育の対象である「子ども」に共通するのは「人間である」こと。キリスト教に基づく人間観を通して、その「人間である」ことについて知り、その「人間」を創造された神を知る。 |  |       |
| テキスト         | 『事実によりて』西田恵一郎・西田玄共著 新教出版社  |  |       |
| 参考書          | 聖書 — 必携(を望む)   |  |       |
|              | 関連書籍 — 随時紹介する  | 授業中にプリントを配布する  |       |
| ポートフォリオ      | 専用のノートあるいはルーズリーフ、またプリントなどを綴じるファイルを準備する。  |  |       |
| 課題の確認と成績評価方法 | 学期末試験(60%)； レポート課題(40%) — 1. 教会出席レポート、2. チャペルアワーレポート、3. テキストの読書レポート対象の部分より1章を選び、各自の考え思いを書く。                    |  |       |

授業概要と課題

|     |           |  |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 第1章1 正しく生きる:聖書における「罪」の意味を知り、罪から解放された生き方を模索する   |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章1 土の器と神の栄光   |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | 第1章2 最も大いなるものは愛:聖書における「愛」の意味を知り、真に価値あるものは見えるものではなく、愛であることを学ぶ                               |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章2 汝らはキリストの體にして、各自その肢なり   |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 第1章3 自分を受け入れる:ありのままの自分を知り、その自分を受容し、好きになることから物事は変わってゆくことを探る                                 |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章3 説教を聞きたい?! 礼拝の恵み  |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 第1章4 信・望・愛をもって:「愛」と共に見えないものに信仰と希望がある。聖書における信仰と希望の意味を知り、信仰と希望に生きる生き方を学ぶ                     |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章4 ホスピス・セミナー受講から思うこと  |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | 第1章5 充実した生を生きる:真に生き甲斐のある人生、自己実現は自分のために生きる生き方を越えたところにあることに気付く                               |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章5 良い顔になろう  |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 第1章6 使命に生きる:人には必ずその人にしかできない使命(mission)がある。それを見つけ、命を懸ける生き方を探求する                             |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章6 「課題『使徒信条』の暗唱」からの発見   |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 第1章7 共に生きる:人間は独りで生きてゆくことはできない。しかし、共生することも容易ではない。人が平和に矯正する術を学ぶ                              |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章7 一五、白書をもう一度   |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 第2章3 説教を聞きたい?! 礼拝の恵み:礼拝とは何かを学ぶ。人は宗教的存在であり、潜在的に超越した存在を求め、礼拝の対象を求めている。礼拝の対象としての神とはどういう存在かを知る |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章8 アイラブユーを生きる   |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | 第2章8 アイラブユーを生きる:「アイラブユー」に徹した人々の生き方を学ぶ  |
|     | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章9 最後に愛は勝つ  |

|      |           |  |
|------|-----------|--|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 第2章9 最後に愛は勝つ:人は様々なものに信頼を置き、答えを求める。しかし、究極的な答えは愛にあることを学ぶ                               |
|      | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第2章10 主を喜ぶことは力の源  |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 第2章11 渴いている人はだれでも、来て飲みなさい:祈りを持たない民族はいない。祈らない人間はいない。祈りとは何か、聖書から学ぶ                     |
|      | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第3章3 目を覚まして祈っていなさい  |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 第3章3 祈りを欲せられる神:人間は祈る。しかし祈りを求めているのは実は神の方である。人との交わりを求める神とは何者か学ぶ                        |
|      | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第3章4 私の息抜きの方法   |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | 第3章2 FIND YOUR WAY:人生において苦しみや悲しみは避けられない。避けられ苦しみや悲しみに意味を見出すことを学ぶ                      |
|      | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第3章5 試練は喜び  |
| 第14回 | テーマ<br>内容 | 第4章3 しかし、わたしは主によって喜ぶ:喜びの根拠は様々であるが、喜びの拠り所をどこに置くか。環境によって左右されない喜びとは何かを学ぶ                |
|      | 授業外指示     | 読書レポート対象として: 第4章1 還暦に思う  |
| 第15回 | テーマ<br>内容 | 第4章4 神に喜ばれるために:究極的な人生の目的は何か。自分の満足あるいは家族の喜びのために生きることか…。神の存在を知り、神と共に神のために生きる人生があることを知る |
|      | 授業外指示     | 特になし   |